

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

昭和57年10月13日 第26報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	180		
(藍) <i>Chroococcus</i> sp.*	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	680	○	
(珪) <i>Melosira italica</i>	680	○	
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	260		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	◎	
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	200		
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i>	160		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	160		◎
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	40		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	120		○
(緑) <i>Staurastrum sebaldi</i> var. <i>productum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	200	5.2	0.8
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	1380	36.1	13.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	6.8	3.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1980	51.8	81.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3820	総体積	1.24E+07
種 類 数	13	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	680

植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。